

気候変動への対応

地球や企業活動に重大な影響を及ぼす気候変動は、当社グループの経営にとってリスクであると同時に、新たな事業機会をもたらすものと考えています。当社グループは、環境課題の解決や改善に取り組むことが、健全な企業としての発展と持続可能な社会を実現するとの認識のもと、2021年9月、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同を表明し、TCFDに沿った開示に向けて取り組んでいます。

温室効果ガス排出量の削減に向けて

脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進め、サプライチェーンにおける温室効果ガスの排出量削減をより確実なものにするため、当社グループは、2021年7月、「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(ver.2.3)」に従い、ワコール事業(国内)のサプライチェーン全体における温室効果ガス排出量(Scope3)を初めて算定しました。また気候変動への取り組みに関する情報開示を推進するため、国際的な非営利団体であるCDPの気候変動質問書にも2021年7月末に初めて回答しました。

ワコール事業(国内)における温室効果ガス排出量

ワコール事業(国内)における温室効果ガス排出量については、サプライチェーンにおける排出量(Scope3)が全体排出量の大部分を占めており、中でも「購入した製品・サービス」の排出量が約90%を占めていることを確認しました。温室効果ガス排出量の削減目標と削減プロセスについては、2022年3月期中に議論を進め、新中期経営計画とともに開示する計画です。

Scope / カテゴリ	バウンダリ	CO ₂ 排出量 (CO ₂ e-t)	構成比	
Scope1	日本国内の事業所・工場・流通センター	1,833	0.5%	
Scope2	日本国内の事業所・工場・流通センター	4,719	1.4%	
Scope3	ワコール(国内)事業	337,730	98.1%	
上流	カテゴリ1	購入した製品・サービス	307,195	91.0%
	カテゴリ2	資本財	13,507	4.0%
	カテゴリ3	Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	1,279	0.4%
	カテゴリ4	輸送、配送(上流)	4,523	1.3%
	カテゴリ5	事業から出る廃棄物	289	0.1%
	カテゴリ6	出張	3,681	1.1%
	カテゴリ7	雇用者の通勤	1,027	0.3%
	カテゴリ8	リース資産(上流)	1,542	0.5%
下流	カテゴリ9	輸送、配送(下流)	2,357	0.7%
	カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	-
	カテゴリ11	販売した製品の使用	算定対象外	-
	カテゴリ12	販売した製品の廃棄	2,331	0.7%
	カテゴリ13	リース資産(下流)	算定対象外	-
	カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	-
	カテゴリ15	投資	算定対象外	-

CDPについて

CDPは、世界の企業や組織の「気候変動」「水」「森林」などの環境問題への取り組みについて、調査、分析を行い、その評価結果を公開している国際的な非営利団体です。CDPの環境情報開示とその評価プロセスは、企業の環境情報開示においてグローバルスタンダードとして広く認知されています。



気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同

当社グループは、2021年9月、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言へ賛同を表明しました。今後は、TCFDの提言に沿って、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4項目について情報開示を推進していきます。

消費者と地球にやさしい事業活動の推進

環境やサステナビリティに対する関心が高まる中、「良い商品を長く使いたい」「環境に配慮した商品を使用したい」という消費者の要望も高まっています。当社グループでは、消費者に長く愛していただけるものづくりに努めるとともに、「地球環境を守ることは企業の責務である」との認識に立ち、環境保全に配慮した事業活動を推進しています。

長く愛されるものづくりと、独自の総生産・総在庫・総販売システムによる製品廃棄ロスの低減

当社グループの基本方針である「愛される商品づくり」を支えているのは、品質と安全への取り組みと在庫を残さない仕組みです。品質管理体制については、ISO9001をベースとして構築しており、材料調達から商品企画、製品設計、生産に至るすべての段階において、厳しい基準を設定して品質向上に向けた活動を行っています。

また、当社グループでは総生産・総在庫・総販売の考え方のもと、利益創出しつつ、廃棄を極力少なくする仕組みを構築しており、(株)ワコールにおける製品廃棄率(生産数に対する廃棄数)は約1%となっています。

持続可能な地球環境の実現に向けた「環境配慮型の商品」の開発

(株)ワコールでは、持続可能な地球環境の実現と「環境に配慮した商品を使用したい」という消費者の要望に応えるため、環境配慮型の商品や資材開発を進めています。

2021年9月に「Wacoal」ブランドから登場する商品グループ[Nature Couture(ナチュレクチュール)]は、アメリカ産のオーガニックコットンやマニラ麻から採れるセルロース繊維を主原料とする和紙を使用した、人にも自然にもやさしいインナーウェアです。無染色のカラーや、オリーブの葉やバラの花など植物から抽出した色素を使用しているほか、デザインとパターンを工夫することで、通常よりも廃棄材料を少なく抑えています。今後は生地のカット時に発生する廃棄材料を国内工場での回収し、糸に再生して次シーズン以降の商品材料として再利用する「廃棄材料リサイクルシステム」の確立を目指します。また、2022年春夏シーズンに直営店を中心に発売予定の環境配慮型ブラジャー[L∞Ping(ルーピング)]は原材料にリサイクル糸を使用しており、将来的には製品回収後の再資源化も視野に入れていきます。



【Nature Couture(ナチュレクチュール)】

ブラリサイクル活動

(株)ワコールで実施する「ワコール ブラリサイクル」活動は、「ブラジャーは捨てにくい」というお客様の声から生まれた、不用になったブラジャーを回収・リサイクルする企画です。日本環境設計(株)の「BRING」に参加して実施しており、回収されたブラジャーは生活雑貨などのパーツに生まれ変わります。2021年3月期は、2020年10月1日から2021年3月31日までの期間で活動を行い、回収総重量は22.0トンでした。



今後の課題

サプライヤーとのエンゲージメント確立

当社グループの温室効果ガス排出量については、サプライチェーンにおける排出量(Scope3)が全体排出量の大部分を占めているため、Scope3の削減に向けては、サプライヤーとの協働が重要となります。中長期的な視点からサプライチェーン全体での気候変動に対応するための行動計画やプロセスについて検討するとともに、サプライヤーへの温室効果ガス排出量削減の働きかけを進めていきます。